

対して何が必要かを考えていくと、日頃やるべきことが見つかってきます。私はそういった日々の練習が好きなので、楽しく水泳をすることができています。

古谷田 素晴らしいですね。目標を達成するために普段の練習の中で工夫していることなどはありますか。
平井 はい。試合のときに出したパフォーマンスと次の目標のイメージとの差をよく見て分析し、どういった技術を身に着ければ自分はその目標を達成できるのか、大きな変化を出せるのかということを考えながらトレーニングしています。

古谷田 すごくですね。その考えというのは、コーチやご家族などから教わるものなのでしょうか。

平井 目標は自分で作っていて、分



日々切磋琢磨する、アリーナつきみ野スポーツクラブの仲間たち

ます。アメリカでやってみたくて、学業や水泳以外で何か興味のあ

平井 今はコミュニケーションに興味を持っています。日々の練習でのコーチや選手とのコミュニケーション、友達同士でのコミュニケーションなどを、アメリカで学びたいです。そして、日本に帰ってきたときに、周りの人たちに学んだことを伝えられる人になりたいと思います。

さらに、私より年下の子たちが、自分も海外でやってみたくて、海外じゃなくても大きな挑戦をしてみたいと思ってくれる子が続いてくれるとうれしいので、そういう人になれるように頑張りたいです。

古谷田 志が高く素晴らしいですね。平井選手が挑戦して、その姿を見て子どもたちもやってみよう、と思うのではないのでしょうか。私のよく言っている言葉に、トライアンドエラーというものがありまして。何事もトライの気持ちで挑戦してやってみよう、その後に失敗もあるんですけれどね。それを繰り返しながら成長していただければと思っています。

私は「いいね大和市、もっと大和市」というスローガンを掲げて市長に就任したわけですが、子どもから高齢のかたまで身体、心、社会的

析する相手なども自分で動画などを見て探しています。どの選手にはどういう特徴があつて比較したいのかを決めるようにしていて、自分で取り組むようにしています。

大和市の魅力

古谷田 自発的な研究、努力ということですね。常に意識して目標に向かって頑張っている姿というのは本当に格好いいですし、きつと子どもたちの憧れの的になると思います。

平井 そうですね。パブリックビューイングを開催して地域の人が応援してくださったり、近所の人が声をかけてくださったり、とても温かいまち・人たちが、よい市に移ってくる

ことができたなと思っています。水泳の大きな試合はよく東京であるので、転居前は毎回新幹線を使って移動していたのですが、今では車で1時間弱で行くことができます。また、

に良好な状態にあることを意味するウェルビーイングを目指し、大和市をもっともつと進化させていきたいなと思っています。そして、若者からも企業からも選ばれるまちとなつて、人が集い、にぎわい、笑顔あふれる大和市にしていきたいと思っています。

少し先の話になるのですが、横浜市の旧上瀬谷通信施設で開催される国際園芸博覧会、GREEN X EXPO 2027があります。これはA1(最上位)クラスの国際博覧会になるので、ぜひ大和市も協力してこれを成功に導きたいです。市外、県外、国外から多くの人に来て

いただいて、世界に目を向けて発展していけるまちにしていきたいと思っています。

電車の本数も多く、交通の便の良さを感じています。あと、好きな場所

で、ご飯屋さんや2つあります。そば店と日本料理店なのですが、日本料理のお店にはこの前家族でパリオリピックのお祝いで行って、とてもおいしかったです。

古谷田 うれしいですね。私は生まれても育ちも就職も、すべてが大和市で、もう56年になります。大和市の魅力はやはり住みやすさ。鉄道3社、駅が8駅あつて、どこからでも歩いて駅に行くことができるという利便性。なおかつ、下町っぽさもあり、人情もあります。暮らしやすさと人の優しさ。そこに加えて、「大和市民まつり」や「神奈川大和阿波おどり」などのさまざまな催し物があるので、そうした中での盛り上がりもあります。

新年の抱負とメッセージ

平井 私は水泳でこれからも自己ベストを更新し続けて、世界大会や3年後のロサンゼルスオリンピックでは、自分の種目で国歌を流せるように頑張っていきたいと思っています。そして、みんなそれぞれ、自分の成し遂げたいことや目標があると思います。その目標や成し遂げたいことが達成できるように、笑顔で楽しくチャレンジすることを大切にして頑張つてほしいです。

古谷田 私は、市民の皆様が幸せを実感できるよう、これまで目指してきた「健康都市やまと」の「康を「幸」に変え、もっと先へと進むべく、「健康都市やまと」を実現していきたい

ですね。昨年は、高座渋谷で「洪祭」というお祭りを新しく始めました。催し物が多く、たくさんの方が交流して楽しむことができる場所も大和市の魅力だと思います。

将来への意気込み

古谷田 平井選手は今年、アメリカに活動の場を移されますよね。これを決めたきっかけ、決意というのは何かあったのでしょうか。

平井 もともとは、日本で大学に進学する予定だったのですが、アメリカのある大学が私に声をかけてくださったので、そこに体験に行ったことがきっかけです。

古谷田 本当に大きな決断だと思います。

と思っています。このためには、新たな総合計画にも示しているとおり、皆様の声を積極的に取り込んでいくことがなによりも大事であると考えております。昨年は、私が市民の皆様と直接地域で対話するタウンミーティングのほか、こどもミーティングも開催し、大和市の将来を担う子どもたちも含め、多くの声を聞かせてもらいました。今年も、現地現場、皆様のところへ赴いて、耳を傾け、皆様が暮らしやすく幸せになる大和市を共に目指していきたいと思っています。今年も、よろしく願いいたします。

この対談の様子は、FMやまと77.7(水)で、1月1日(祝)午前10時から放送します(2日(木)・3日(金)も同時刻に再放送)。

平井 瑞希さん

愛知県出身。全国大会には小・中学生時代を通じて出場し、バタフライで大会新記録の樹立や優勝を果たす。高校進学を機に家族とともに大和市へ移住。順調に記録を伸ばし、世界ジュニア選手権に出場して優勝。パリオリンピックでは、100mバタフライに出場し、57秒19のタイムで7位、混合400mメドレーリレーで8位、女子400mメドレーリレーで5位といずれも入賞を果たした。

大和市長 古谷田 力